

福井県知事

2023年 月 日

杉本 達治 殿

高等学校等就学支援金

- 受給資格認定申請書（初回時）
高等学校等就学支援金(以下「就学支援金」といいます。)の受給資格の認定を申請します。
- 収入状況届出書（2回目以降）
既に受給資格認定を受けているため、就学支援金の支給に関して、保護者等の収入の状況に関する事項について、届け出ます。
(上の2つの□のうち、いずれかの□にレ印を付けてください。)

(次の事項を必ず確認の上、両方の□にレ印を付けてください。)

- この申請書又は届出書の記載内容は、事実と相違ありません。
- この申請書又は届出書に虚偽の記載をして提出し、就学支援金の支給をさせた場合は、不正利得の徴収や3年以下の懲役又は100万円以下の罰金等に処されることがあることを承知しています。

(以下の空欄に生徒本人が署名してください。保護者等による代筆も可能です。記入に当たっては、別紙の「記入上の注意」及び「留意事項」をよく読んでから記入してください。)

ふりがな			
生徒の氏名	姓		名

生徒の生年月日	年 月 日
生徒の住所	〒 都道府県 市区町村
保護者等の電話番号	— — 父の携帯 母の携帯 その他() 自宅
保護者等の電子メールアドレス	(任意) @
生徒が在学する学校の名称	仁愛女子高等学校

【1. 高等学校等の在学期間について】（収入状況届出書の場合は記入不要です。）

※次のいずれかに該当する者は、就学支援金の受給資格認定の申請ができません。

- ・高等学校等(修業年限が3年未満のものを除きます。)を卒業又は修了した者
- ・高等学校等に在学した期間(定時制・通信制等に在学した期間は、その月数を1月の4分の3に相当する月数として計算。)が通算して36月を超えた者 (ただし、就学支援金の支給停止期間等は含めません。)

①現在通っている高等学校等の在学期間	学校名 私立 仁愛女子高等学校	20 年 4月 1日 ～ (うち支給停止期間等) 年 月 日 ～ 年 月 日	学校の種類・課程・学科 高等学校 (全日制) 普通科
②過去に別の高等学校等に在学していた期間	学校名 立	年 月 日 ～ (うち支給停止期間等) 年 月 日 ～ 年 月 日	学校の種類・課程・学科

【2. 保護者等の収入の状況について】

申請又は届出時点における保護者等の状況及び添付する個人番号カードの写し等（個人番号カードの写し、個人番号が記載された住民票の写し・住民票記載事項証明書等）については次のとおりです。（次の①から⑦までのいずれかの□にレ印を付けてください。）

(1) 次の保護者等の個人番号カードの写し等を添付します。

①	<input type="checkbox"/>	親権者(両親)2名分 生徒が未成年（18歳未満）であり、親権者（両親）が2人存在する場合
②	<input type="checkbox"/>	親権者1名分（ア又はイのいずれかの□にレ印を付けてください。） （親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、⑤から⑦までのいずれかの□にレ印を付けてください。）
		親権者の1人が、日本国内に住所を有したことがないなど個人番号の指定を受けていない場合 ア イ ・離婚、死別等により親権者が1人の場合、 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の個人番号カードの写し等を添付できない場合 等
③	<input type="checkbox"/>	未成年後見人 <input type="checkbox"/> 名分 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合 （未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分。ただし、未成年後見人が、法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除きます。）
④	<input type="checkbox"/>	生徒の生計をその収入により維持している者(以下「主たる生計維持者」という)(両親等)2名分 生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合
⑤	<input type="checkbox"/>	主たる生計維持者1名分（ア又はイのいずれかの□にレ印を付けてください。）
		主たる生計維持者の1人が、日本国内に住所を有したことがないなど個人番号の指定を受けていない場合 ア イ ・生徒が未成年だが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合、 ・入学時点で生徒が成人であったが、主たる生計維持者が存在する場合、 ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者が1人だった場合、 ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者又は未成年後見人が存在しなかった場合 等
⑥	<input type="checkbox"/>	生徒本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合 等

(2) 次の理由により、個人番号カードの写し等を添付しません。

⑦	<input type="checkbox"/>	親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者の全員が、日本国内に住所を有したことがないなど、個人番号の指定を受けていない場合
---	--------------------------	--

個人番号カードの写し等を添付する保護者等の氏名及び生徒との続柄(⑦にレ印を付けた場合は不要です。)

氏名 (ふりがな)	生徒との続柄	氏名 (ふりがな)	生徒との続柄
生年月日	年 月 日	生年月日	年 月 日

上記保護者等のその年の1月1日現在（申請又は届出を行う月が1～6月の場合には、その前年の1月1日現在）の市区町村までの住所(日本国内に住所を有していない場合には、□にレ印を付けてください。)

都道 府県	市区 町村	都道 府県	市区 町村
<input type="checkbox"/> 日本国内に住所を有していない。		<input type="checkbox"/> 日本国内に住所を有していない。	

※ 収入の修正申告や税額の更正決定による市町村民税の課税所得額(課税標準額)又は市町村民税の調整控除額の変更や離婚・死別、養子縁組等による保護者等の変更があった場合には、支給額が変更となることがありますので、必ず学校に連絡してください。

【3. 確認事項】(次の事項を確認の上、□にレ印を付けてください。)

就学支援金を授業料に充てるとともに、就学支援金の支給に必要な事務手続を学校設置者に委任することを了承します。

記載例

網掛けの部分ボールペンで生徒本人または保護者の方が楷書で記入してください。



様式第1号（その1）（第3条第1項並びに第10条第2項及び第11条第1項から第3項まで）

福井県知事 杉本 達治 殿

高等学校等就学支援金

※年月日の「年」については、すべて「西暦」で記入して



受給資格認定申請書（初回時）

高等学校等就学支援金(以下「就学支援金」といいます。)の受給資格の認定を申請します。

収入状況届出書（2回目以降）

既に受給資格認定済み、就学支援金の支給に関して、保護者等の収入の状況に関する

内容を確認して、必ずチェック☑をつけてください。

の2つの□のうち、いずれかの□にレ印を付けてください。）



(次の事項を必ず確認の上、両方の□にレ印を付けてください。)

この申請書又は届出書の記載内容は、事実と相違ありません。

この申請書又は届出書に虚偽の記載をして提出し、就学支援金の支給をさせた場合は、不正利得の徴収や3年以下の懲役又は100万円以下の罰金等に処されることがあることを承知しています。

(以下の空欄に生徒本人が署名してください。保護者等による代筆も可能です。記入に当たっては、別紙の「記入上の注意」及び「留意事項」をよく読んでから記入してください。)

Table with student name: ふりがな 仁愛 花子

Table with student details: 2006年5月2日, 福井県福井市, 090-△△△△-□□□□, 仁愛女子高等学校

不備がある際に問い合わせることがあります。必ず連絡がとれる番号を記入してください。

メールアドレスの記入は任意です。原則は電話で問い合わせをします。記入される際はハッキリと読みやすい字でご記入ください。

【1. 高等学校等就学支援金収入状況届出書の場合は記入してください。】

※次のいずれかに該当する場合は、受給資格認定の申請ができません。
・高等学校等(修業年限が3年未満のものを除きます。)を卒業又は修業年限満了後、高等学校等に在学した期間(定時制・通信制等に在学した期間は、その月数として計算。)が通算して36月を超えた者(ただし、就学支援金受給資格認定済みの場合は、その期間を36月と見做す。)

Table with school information: ①現在通っている高等学校等の在学期間, ②過去に別の高等学校等に在学していた期間

【2. 保護者等の収入の状況について】

申請又は届出時点における保護者等の状況及び添付する個人番号カードの写し等（個人番号カード、個人番号が記載された住民票の写し・住民票記載事項証明書等）については次のとおりです。（①から⑦までのいずれかの□にレ印を付けてください。）

(1) 次の保護者等の個人番号カードの写し等を添付します。

①	<input checked="" type="checkbox"/>	親権者(両親)2名分 生徒が未成年(18歳未満)であり、親権者(両親)が2人存在する場合
②	<input type="checkbox"/>	親権者1名分(ア又はイのいずれかの□にレ印を付けてください。) (親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、⑤から⑦までのいずれかの□にレ印を付けてください。)
	<input type="checkbox"/>	ア 親権者の1人が、日本国内に住所を有していない場合
	<input type="checkbox"/>	イ 離婚、死別等により親権者が存在しない場合、又は親権者が存在するが、個人番号カードの写し等を添付していない場合
③	<input type="checkbox"/>	未成年後見人1名分 親権者が存在せず、(未成年後見人が複数存在する場合は、そのうち1人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除きます。)
④	<input type="checkbox"/>	生徒の生計をその収入により維持している者(以下「主たる生計維持者」という)(両親等)2名分 生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合
⑤	<input type="checkbox"/>	主たる生計維持者1名分(ア又はイのいずれかの□にレ印を付けてください。)
	<input type="checkbox"/>	ア 主たる生計維持者の1人が、日本国内に住所を有していないなど個人番号の指定を受けていない場合
	<input type="checkbox"/>	イ 生徒が未成年だが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合、 ・ 入学時点で生徒が成人であったが、主たる生計維持者が存在する場合、 ・ 生徒が成人であり、未成年の時点で親権者が1人だった場合、 ・ 生徒が成人であり、未成年の時点で親権者又は未成年後見人が存在しなかった場合 等
⑥	<input type="checkbox"/>	生徒本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合 等

★受給資格確認のために重要な項目です★

必ずいずれか1つにチェック☑し、個人番号カードの写し等を提出してください。(⑦を除く)

②および⑤を選択した場合は、ア、イのいずれか1つにチェック☑するのも忘れないでください。

(2) 次の理由により、個人番号カードの写し等を添付しません。

⑦	<input type="checkbox"/>	親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者の個人番号の指定を受けていない場合
---	--------------------------	---------------------------------------

添付する個人番号の写し等の氏名、生年月日、生徒との続柄を記入してください。

個人番号カードの写し等を添付する保護者等の氏名及び生徒との続柄(⑦にレ印を付けた場合は不要です。)

氏名 (ふりがな) じんあい だいすけ	生徒との続柄	氏名 (ふりがな) じんあい まきこ	生徒との続柄
仁愛 大助	父	仁愛 まき子	母
生年月日	1970年 1月 1日	生年月日	1975年 3月 3日

記保護者等のその(現在)の市区町村	記生徒の(現在)の市区町村	記保護者等のその(前年1月1日現在)の市区町村	記生徒の(前年1月1日現在)の市区町村
福井 都道府県 福井 市区町村	福井 都道府県 福井 市区町村	福井 都道府県 福井 市区町村	福井 都道府県 福井 市区町村
<input type="checkbox"/> 日本国内に住所を有していない。		<input type="checkbox"/> 日本国内に住所を有していない。	

★2022年(令和4年)の1月1日現在の市区町村までの住所を記入してください。

※ 収入の修正や生計等による市町村民税の課税所得額(課税標準額)又は市町村民税の調整控除額の変更や、保護者等の収入等による保護者等の変更があった場合には、支給額が変更となることがありますので、

外国に居住の方(その年の日本での住民税等の税金を支払っていない方)のみつけてください。

【3. 確認事項】(次の事項を確認の上、□にレ印を付けてください。)

<input checked="" type="checkbox"/>	就学支援金を授業料に充てるとともに、就学支援金の支給に必要な事務手続を学校設置者等に委任することを了承します。
-------------------------------------	---

内容を確認して、チェック☑をつけてください。

学校受付日 年 月 日 (学校において記入。)